



県統計大会にて表彰 統計調査功績者へ表彰状

2月5日に県統計大会で表彰された市統計調査員が大会終了後に市役所を訪れ、市長から表彰状の伝達を受けました。伝達を受けたのは、農林水産大臣表彰を受賞した上野カナエさん、県知事感謝状を受賞した武田美紀さん、県統計協会会長感謝状を受賞した工藤邦男さんと玉懸隆一さんの4人。市長は協力への感謝を伝え、一人一人に表彰状を渡しました。

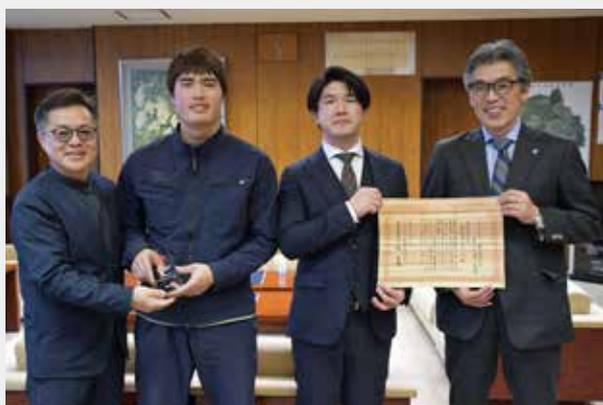


大学と地域企業の交流 第3回イノベCafé開催

県立大と市が主催する第3回イノベCaféが2月3日、市IPU第2イノベーションセンターで開かれ、大学教職員や学生、入居企業関係者が参加し、ランチを楽しみながら交流を深めました。当日は、市地域活性化起業人の斎藤裕二氏と県立大総合政策学部の杉安和也准教授が「防災」をテーマにトークセッションを行い、参加者は熱心に耳を傾けました。

国民を守る自衛隊員に 自衛隊入隊予定者を激励

市出身の自衛隊入隊・入校予定者激励会が3月6日、滝沢ふるさと交流館で行われました。当日は、入隊・入校予定者13人のうち10人が出席し、市長が一人一人を激励しました。代表の佐々木莉玖さんは「不安もあるが、仲間と励まし合い、国民の期待に応えられる自衛官を目指します」と力強く決意を述べました。



農福連携に馬コを融合 未来を耕す先進事例が受賞

株式会社スタディアの取り組みが「ディスカバー農山漁村の宝」で特別賞「誰もが輝く賞」を受賞しました。

2月3日には鈴木学代表取締役社長が市長を表敬訪問し、受賞を報告。鈴木さんは「誰もが輝ける地域づくりのモデルを発信していきたい」と抱負を述べ、市長も今後の活躍に期待を寄せました。

感謝を胸に巣立つ 滝沢中学校卒業証書授与式

卒業証書授与式が3月12日、市内中学校で行われました。滝沢中学校では、卒業生175人が保護者や教職員に見守られる中、卒業証書が手渡されました。卒業生を代表して橋本大河さんが「たくさんの人に支えてもらったからこそ今の私たちがいます。ここから新しいスタートとして、学んだことを糧に一歩一歩進んでいきます」と話しました。



歯科医療救護活動協定 岩手八幡平歯科医師会と

市と岩手八幡平歯科医師会は3月12日「災害時の歯科医療救護活動に関する協定」を締結しました。同会の高嶋勉会長は「近年、大規模災害が発生した際、医療救護活動の重要性はさることながら、歯科保健活動の重要性が高まっています。この協定は地域災害対策の新たな一歩であると考えています」と述べました。



岩手県交通と連携協定 災害時に電気バスなど支援

市と岩手県交通株式会社は3月13日「災害時における電気バス等の支援に関する協定」を締結しました。同社の本田一彦代表取締役会長兼社長は「滝沢営業所へもEVバスが配備され、利用者の皆様から乗り心地がよいと好評いただいている。不測の事態が発生した場合、行政と手を携えて、地域の皆様のためにできることをしていきたい」と述べました。

新コーナー!

地域おこし観察日記 4月号

～隊員2人による交換日記～

氏名：大瀧 雄二 隊員 
令和6年11月に着任し、有害鳥獣の利活用をメインミッションとして活動しています。



地域おこし協力隊の大瀧です。県内では、捕獲された有害鳥獣は焼却処分している地域が大半です。採算が合わないということもありますが、東日本大震災以降の出荷制限がまだ解除されていないというのが一番の理由だと考えています。捕獲して焼却という流れはあまりにもったいなく、制限解除に向けたデータの蓄積やその先にある活用方法の模索をしています。

地域の皆さんに応援していただきたく、活動している際に見かけたら声をかけていただけるとうれいんです!

◆次号の隅谷百葉隊員へ一言!   

12月から着任した隅谷隊員は「儲かる農業のしくみづくり」がメインミッションと聞いています! 農業の先生には出会えましたか?